

令和3年度

第1回定期監査  
結果報告書

(令和3年11月執行分)

御殿場市監査委員

03御監第305号  
令和3年12月24日

御殿場市長 勝又正美様

御殿場市監査委員 榊原敏彦  
御殿場市監査委員 芹沢修治

### 定期監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、令和3年度第1回定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

# 令和3年度第1回定期監査結果報告書

## 第1 監査の対象

市民部	市民課、くらしの安全課
健康福祉部	原里第1保育園、原里第2保育園
教育委員会教育部	学校給食課
	御殿場南小学校、富士岡小学校、竈幼稚園

## 第2 監査の期間

令和3年10月27日から11月30日まで

## 第3 監査の範囲

令和3年4月1日から令和3年9月30日までの財務に関する事務事業の執行状況

## 第4 監査の方法

提出された監査書類による説明聴取及び関係諸帳簿の照合と施設の管理状況の実査

## 第5 監査の結果

監査の対象となった事務事業の予算執行及び会計事務処理は適正に執行されており、施設等の管理状況についても概ね適正であった。

法令、条例、規則等に違反している事項、又は経済性、有効性の観点から改善を要する事項など、特に指摘すべき事項は見受けられなかった。軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

所管毎の監査の概要は次のとおりである。

(注記)

- 1 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満は基本的には四捨五入した。したがって、合計額または差額が一致しない場合もある。
- 2 表中の金額の単位はその都度表示し、千円単位の場合は単位未満を四捨五入してある。したがって、小計・合計欄が一致しない場合もある。
- 3 文中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、構成比率の合計が100になるよう一部調整してある。  
また、執行率は99.95%～99.99%の場合99.9%としてある。
- 4 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。  
「 0 . 0 」 … 該当数値はあるが、表示単位未満のもの  
「 - 」 … 該当数値がないもの、または数値を表示することが適当でないもの  
算出不能なもの、または増減率等の無意味なもの  
「 △ 」 … マイナスのもの
- 5 歳出予算執行状況は、人件費を除いた数値である。

## 市民部

### 1 監査の対象

市民課、くらしの安全課

### 2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

## 市民課

当課は、課長以下 31 人(うち休職者 2 人、会計年度任用職員 13 人)で、届出スタッフ、証明スタッフ、駅前サービスセンターにより組織されている。

#### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・戸籍・住民基本台帳等の届出及び証明事務  
(戸籍、住民基本台帳、印鑑登録等の受付審査、戸籍・住民票・印鑑証明等の交付ほか)
- ・駿豆地区広域行政窓口サービス事業  
(駿豆地区 8 市 4 町いずれの市町の窓口においても各種証明等の交付が出来るサービスの実施)
- ・駅前サービスセンター事業 (駅前サービスセンターの運営、維持管理に関すること)
- ・コンビニ交付事業 (住民票の写し、印鑑証明を全国のコンビニで交付が出来るサービスの実施)
- ・個人番号カード関連事業  
(番号制度施行に伴う個人番号カードの交付及び運用に関すること)

#### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	33,312,000	12,913,400	14,664,050	△ 1,750,650	44.0	113.6
国 庫 支 出 金	65,836,000	11,366,000	10,888,000	478,000	16.5	95.8
県 支 出 金	2,668,000	2,473,613	2,473,613	0	92.7	100.0
諸 収 入	500,000	0	0	0	0.0	—

収入済額の主なものは、戸籍手数料 5,752 千円、住民基本台帳手数料 5,568 千円、印鑑登録証明手数料 2,735 千円、個人番号カード事業費補助金 10,412 千円、旅券申請・交付事務委託金 2,474 千円である。

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	118,045,000	39,880,248	78,164,752	33.8

※人件費を除く

事業別の執行状況は、戸籍住民基本台帳整備経費（予算現額 34,554 千円、支出済額 11,719 千円、支出率 33.9％）、個人番号カード関連事業（予算現額 61,703 千円、支出済額 17,802 千円、支出率 28.9％）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、戸籍住民基本台帳整備経費の報酬 8,512 千円、委託料 8,904 千円、個人番号カード関連事業の報酬 7,366 千円、負担金補助及び交付金－交付金 30,994 千円である。

(3) 窓口現金の取り扱いについて

窓口現金（釣銭資金）の管理状況について聴取を行った結果、適正に処理されていた。

(4) 郵券等の管理について

郵券及び郵券受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、適正に処理されていた。

(5) 意見・要望事項

ア 個人番号カード関連事業については、マイナポイント等の影響により申請数が急増したとのことであるが、休日開庁等により迅速に対応したことは評価するところである。問い合わせ・来庁者が多いとのことであるが、国の動向を注視し、迅速かつ丁寧な対応・説明ができるよう、引き続き、体制整備に努められたい。

併せて、各種届出・証明事務についても、引き続き、丁寧な対応をお願いしたい。

イ 駅前サービスセンターは、市民課の出先機関としての機能のほかに、税の収納、観光案内、駅周辺施設の維持管理業務の一部も行う等、多岐にわたる業務を担っているが、それに対する職員数が足りていないとのことである。また、開所から20年以上が経過し経年劣化が進んでおり、改修・改築等の必要性も生じている。

今後のセンターの在り方について、関係各課と協議されたい。

## くらしの安全課

当課は、課長以下 12 人(うち相談員等 6 人)で、相談・安全スタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・相談事業（法律相談、交通事故相談、外国籍市民相談、人権相談、行政相談、消費生活相談ほか）
- ・消費生活関連事業（消費者啓発事業、消費者行政活性化事業ほか）
- ・交通安全推進事業（交通安全教育、交通安全運動、交通指導員会運営事業ほか）
- ・防犯対策事業（防犯施設整備事業、防犯まちづくり推進事業ほか）

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
県 支 出 金	5,128,000	0	0	0	0.0	—
繰 入 金	21,673,000	21,548,000	21,548,000	0	99.4	100.0
諸 収 入	2,732,000	0	0	0	0.0	—

収入済額の主なものは、御殿場財産区特別会計繰入金 4,618 千円、原里財産区特別会計繰入金 6,070 千円、玉穂財産区特別会計繰入金 4,420 千円、高根財産区特別会計繰入金 4,270 千円(いずれも地域防犯活動支援事業補助金、地区防犯灯維持管理事業交付金に係る財産区繰入金)である。

#### イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
市 民 相 談 費	13,409,000	4,183,199	9,225,801	31.2
交 通 安 全 ・ 防 犯 対 策 費	52,604,000	42,492,230	10,111,770	80.8

※人件費を除く

事業別の執行状況は、消費者行政事業(予算現額 9,367 千円、支出済額 3,551 千円、支出率 37.9%)、交通安全推進事業(予算現額 9,825 千円、支出済額 6,827 千円、支出率 69.5%)、交通指導員会運営事業(予算現額 9,342 千円、支出済額 5,305 千円、支出率 56.8%)、防犯施設整備事業(予算現額 25,652 千円、支出済額 23,322 千円、支出率 90.9%)、防犯まちづくり推進事業(予算現額 5,382 千円、支出済額 5,353 千円、支出率 99.5%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、消費者行政事業の報酬 3,447 千円、交通安全推進事業の負担金補助及び交付金－負担金 2,768 千円、交通指導員会運営事業の報償費 3,377 千円、防犯施設整備事業の負担金補助及び交付金－補助金 2,330 千円である。

(3) 郵券等の管理について

郵券及び郵券受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、適正に処理されていた。

(4) 意見・要望事項

ア 各種相談事業については、相談内容が多岐にわたり複雑化しており、特に昨今は新型コロナウイルスの影響もあり、相談件数も増加しているとのことであるが、引き続き、丁寧な対応を心掛けていただきたい。

また、消費者被害を減らすため、関係機関と調整して啓発等の効果的な対策に努められたい。

イ 防犯施設整備事業における防犯灯・防犯カメラの設置については、市民の安全・安心を守るという観点から、各区からの要望を反映し、適切な予算措置を講じられたい。

併せて、防犯まちづくり推進事業についても、警察を始めとする関係団体等と連携をとり、包括的・横断的な防犯体制づくりの構築に努められたい。



## 健康福祉部(保育園、こども園)

### 1 監査の対象

原里第1保育園、原里第2保育園

### 2 監査の結果

監査した結果、予算執行及び会計事務処理は適正に行われており、施設等の管理状況も概ね適正であった。指摘事項、指導事項はなかった。

#### (1) 予算の執行状況

保育園の令和3年度における配当予算の執行状況は、次のとおりである。

##### 原里第1保育園

(単位:円・%)

科 目	配当予算額	支出済額	支出率	予算残額
保 育 所 費	628,000	175,479	27.9	452,521
保育所運営費	576,000	175,479	30.5	400,521
施設整備費	52,000	0	0.0	52,000
子ども家庭センター費	28,000	0	0.0	28,000
合 計	656,000	175,479	26.7	480,521

##### 原里第2保育園

(単位:円・%)

科 目	配当予算額	支出済額	支出率	予算残額
保 育 所 費	2,053,000	640,233	31.2	1,412,767
保育所運営費	2,001,000	640,233	32.0	1,360,767
施設整備費	52,000	0	0.0	52,000
子ども家庭センター費	28,000	0	0.0	28,000
合 計	2,081,000	640,233	30.8	1,440,767

#### (2) 財産管理の状況

##### ア 施設等の管理

施設等については概ね適正に維持管理されていた。各園とも定期的に点検を実施して状態を把握し、園児の安全確保に努められていた。

##### イ 備品等の管理

備品等について備品関係台帳等を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

### (3) 防災・防犯対策等に係る状況

#### ア 防災対策

防災対策については、地震・火災等を想定した防災訓練を年間計画に基づき実施し、防災意識の啓発が図られていた。

#### イ 防犯対策

防犯対策については、不審者の侵入等、様々な状況を想定し、園児の安全を第一に考えた組織的な対応が検討されていた。

### (4) 意見・要望事項

ア 保育ニーズの変化や新型コロナウイルス等、難しい対応を迫られることも多々あると思うが、関係機関や保護者等との連携を密にして、適切な対応をお願いしたい。

イ 防災・防犯対策については、保護者の関心が非常に大きい部分であるため、今後も定期的に訓練を実施して意識の啓発を図り、緊急時に円滑な対応を取ることができるよう努めていただきたい。また不審者対策については、警察並びに地域と連携して適切に対処されるよう望む。

ウ アレルギーを持った園児への給食・おやつ等については、引き続き、命に関わることと認識して対応されたい。

エ 児童虐待については、今後も園児の様子に目を配り、関係機関との連絡を密にして大事に至らないよう努められたい。

オ 保護者会費等の現金管理については、引き続き、適正な管理(金庫等での保管、通帳・印鑑の相互牽制)をお願いしたい。

カ 新型コロナウイルスにより、各種行事の縮小等を余儀なくされているとのことだが、園児の経験の場を確保できるよう、引き続き、創意工夫をお願いしたい。

# 教育委員会教育部

## 1 監査の対象

学校給食課

## 2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

### 学校給食課

当課は、課長以下 67 人(うち調理師 17 人、県栄養士 5 人、会計年度任用職員 41 人)で、管理スタッフ、西学校給食センター、南学校給食センター、高根学校給食センターにより組織されている。

#### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・学校給食に関する事務(調理業務、洗浄業務、物資発注・検収業務ほか)
- ・学校給食施設整備及び機器管理業務
- ・正しい食習慣の育成
- ・学校給食の合理的運営

#### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

##### ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
繰 入 金	11,227,000	0	0	0	0.0	—
諸 収 入	349,776,000	92,460,104	122,770,819	△ 30,310,715	35.1	132.8
市 債	4,200,000	0	0	0	0.0	—

収入済額の主なものは、小学校給食納付金(現年度分) 73,321 千円、中学校給食納付金(現年度分) 47,663 千円である。

## イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
給食センター運営費	742,942,000	231,841,924	511,100,076	31.2

※人件費を除く

事業別の執行状況は、学校給食諸経費(予算現額 509,594 千円、支出済額 173,088 千円、支出率 34.0%)、施設管理費(予算現額 223,817 千円、支出済額 58,171 千円、支出率 26.0%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、学校給食諸経費の需用費－賄材料費 301,623 千円、委託料 32,412 千円、施設管理費の需用費－光熱水費 18,563 千円、施設管理費の償還金利子及び割引料 103,768 千円である。

## (3) 学校給食費の納付状況について

9月末日現在の小学校、中学校及び給食センター学校給食納付金の収納状況は、次のとおりである。

## 学校給食納付金の状況

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
小学校学校給食納付金	207,840,000	55,364,997	73,531,839	△ 18,166,842	35.4	132.8
（現年度分）	207,540,000	55,364,997	73,320,879	△ 17,955,882	35.3	132.4
（過年度分）	300,000	0	210,960	△ 210,960	70.3	—
中学校学校給食納付金	136,610,000	35,925,763	47,691,296	△ 11,765,533	34.9	132.7
（現年度分）	136,110,000	35,925,763	47,662,536	△ 11,736,773	35.0	132.7
（過年度分）	500,000	0	28,760	△ 28,760	5.8	—
給食センター学校給食納付金(現年度分)	5,226,000	1,133,344	1,511,684	△ 378,340	28.9	133.4
合 計	349,676,000	92,424,104	122,734,819	△ 30,310,715	35.1	132.8

※給食センター学校給食納付金の収入未済額が負数であるのは、未調定のものがあるためである。

## (4) 意見・要望事項

ア 安心・安全な学校給食の提供のため、引き続き、日常的な衛生管理に係る対応等を徹底されたい。また、アレルギー対応給食については、学校・家庭とも連携をとり、事故のないように努められたい。

イ 施設管理については、計画的な維持管理・補修等を実施し、作業能率の向上、安全管理基準の徹底を図るとともに、効率的な運営に努められたい。

ウ 学校給食納付金については、在学中は学校において収納を行い、卒業後の過年度分未納額は学校給食課で対応している。児童手当からの徴収により、未納額縮減に一定の成果がある

ように伺える。引き続き、公平性の観点からも、適切な督促行為を行い、未納・滞納額の縮減に努められたい。

また、長年の懸案事項であった債権管理条例については、他部署において、令和5年度からの運用開始を目指し本格的な検討が始まった。関係課として調整を図られたい。

## 教育委員会教育部(小学校・幼稚園)

### 1 監査の対象

御殿場南小学校、富士岡小学校、竈幼稚園

### 2 監査の結果

監査した結果、予算執行及び会計事務処理は適正に行われており、施設等の管理状況も概ね適正であった。指摘事項は見受けられなかった。また、軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

#### (1) 予算の執行状況

各学校、幼稚園の令和3年度における予算の執行状況は、次のとおりである。

#### 御殿場南小学校

(単位:円・%)

科 目	配当予算額	支出済額	支出率	予算残額
学 校 管 理 費	3,591,000	1,500,325	41.8	2,090,675
学校運営経費	2,533,000	994,160	39.2	1,538,840
施設管理費	241,000	8,800	3.7	232,200
施設整備費	425,000	424,721	99.9	279
特別支援学級諸経費	392,000	72,644	18.5	319,356
教 育 振 興 費	416,000	136,401	32.8	279,599
合 計	4,007,000	1,636,726	40.8	2,370,274

#### 富士岡小学校

(単位:円・%)

科 目	配当予算額	支出済額	支出率	予算残額
学 校 管 理 費	2,295,000	1,152,417	50.2	1,142,583
学校運営経費	1,387,000	635,747	45.8	751,253
施設管理費	351,000	33,656	9.6	317,344
施設整備費	300,000	294,002	98.0	5,998
特別支援学級諸経費	257,000	189,012	73.5	67,988
教 育 振 興 費	328,000	102,020	31.1	225,980
合 計	2,623,000	1,254,437	47.8	1,368,563

竈幼稚園

(単位:円・%)

科 目	配 当 予 算 額	支 出 済 額	支 出 率	予 算 残 額
幼 稚 園 運 営 経 費	228,000	88,099	38.6	139,901
施 設 管 理 費	161,000	24,653	15.3	136,347
施 設 整 備 費	74,000	9,440	12.8	64,560
合 計	463,000	122,192	26.4	340,808

(2)財産管理の状況

ア 施設等の管理

施設等については概ね適正に維持管理されていた。各学校・園とも定期的に点検を実施して状態を把握し、園児・児童の安全確保に努められていた。

イ 備品等の管理

備品等について備品関係台帳及び寄付採納簿を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

ウ 郵券等の管理

郵券及び郵券受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、富士岡小学校・竈幼稚園については、正確に記帳され、適正に管理されていた。御殿場南小学校については、郵便受払簿に一部記入誤りがあったため適正な管理を指導した。

(3)防災・防犯対策等に係る状況

ア 防災対策

防災対策については、地震・火災等を想定した防災訓練を年間計画に基づき実施し、防災意識の啓発が図られていた。また、保護者への引き渡し訓練や予告なしでの訓練等の対応がとられていた。

イ 防犯対策

防犯対策については、不審者の侵入に対する訓練を実施するなどの対応がとられていた。

(4)個人情報保護に係る状況

ア 個人情報保護

個人情報保護については、システム改修に伴い、教職員に貸与されている PC 等からはデータの取り出しができない(USB メモリ等の接続が制限される)など、情報漏洩への対策が取られていたが、改めて注意を促した。

(5)意見・要望事項

- ア 学校徴収金等の現金・帳簿の管理については、複数人での管理体制が整っており、引き続き適正な管理に努めて頂きたい。また、未納・滞納者対策についても、引き続き、適切な収納対策に努めて頂きたい。
- イ 予算の執行にあたっては、園児・児童に不便や危険のないように、メリハリのある予算の確保と適正な執行に努めて頂きたい。また、事業の執行にあたり財産区及び地元法人等から協力を頂いているが、その有無により教育環境に地域的格差が生じないよう、引き続き平準化に努められたい。
- ウ 新型コロナウイルスにより、各種行事の縮小等を余儀なくされているとのことだが、園児・児童の経験の場を確保できるよう、引き続き、創意工夫をお願いしたい。
- エ 令和2年度に小中学校向けに導入したタブレットの利活用について、試行錯誤はあると思うが、学びの環境の充実に繋げてほしい。
- オ 防災・防犯対策については、今後も定期的に訓練を実施して意識の啓発を図り、緊急時に円滑な対応を取ることができるよう努めて頂きたい。また、不審者対策については、警察並びに地域と連携して適切に対処されるよう望む。
- カ 特別な支援が必要な園児・児童については、年々増加傾向にあるようだが、今後とも教育委員会や市関係部局と連携し、就学時の円滑な引き渡しができるよう情報共有の仕組みも含めて対応されるようお願いしたい。
- キ 幼稚園全体では園児数が減少し、閉園となる幼稚園も出ているが、小規模園ならではの手厚く丁寧な教育、異年齢交流等の魅力づくりに努めて頂きたい。